

平成27年度進行管理・評価シート
萩市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）
（最終変更平成28年3月15日）

☑進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 旧萩藩校明倫館活用推進事業	3
2 萩時代まつり	4
3 萩夏まつり	5
4 萩の和船大競漕「おしくらごう」	6
5 浜崎伝建おたから博物館	7
6 ワンコイントラスト(百円信託)運動	8
7 萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定	9
8 萩・万灯会	10
9 萩・大茶会	11
10 萩ものがたり出版事業	12
11 萩焼まつり	13
12 萩・幕末維新検定	14
13 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	15
14 語り部育成事業	16
15 地域コミュニティ組織づくり事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項	18～19
2 文化財の普及・啓発等に関する事項	20
3 文化財施設等の活用に関する事項	21～22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 明治の産業革命世界遺産へほか	23～24
⑥その他(様式1-6)	
1 萩・明治維新150年記念事業	25
2 萩・世界遺産ビジターセンター学び舎	26
3 歴史まちづくりの効果	27
⑦法定協議会等におけるコメント(様式4)	
1 法定協議会等におけるコメント	28

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、歴史まちづくり部が中心となっており、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちょる会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

総合政策部のまちじゅう博物館推進課及び世界遺産登録推進課を平成26年度から歴史まちづくり部に移管し、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを企画政策課と連携して総合的に進める体制を再構築した。民間団体の取り組みについては、萩市のまちづくりの基軸である「萩まちじゅう博物館」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちょる会」、「萩往還佐々並どうしんてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

NPO萩まちじゅう博物館会員数 200人、NPO萩観光ガイド協会会員数 116人
 浜崎しっちょる会会員数 69人、萩往還佐々並どうしんてやろう会会員数 114人
 (平成28年3月末現在)

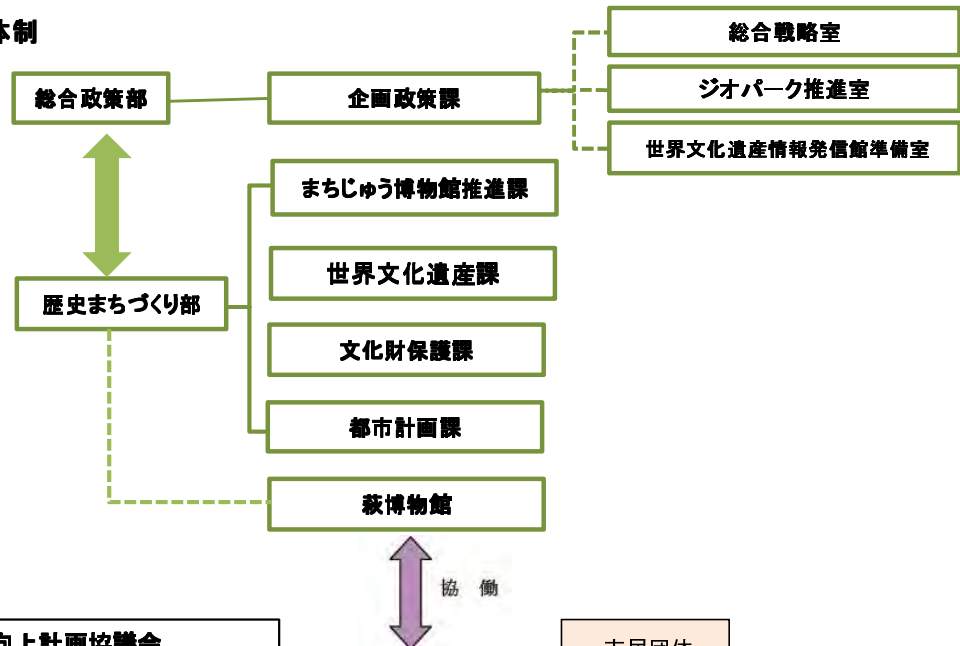
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

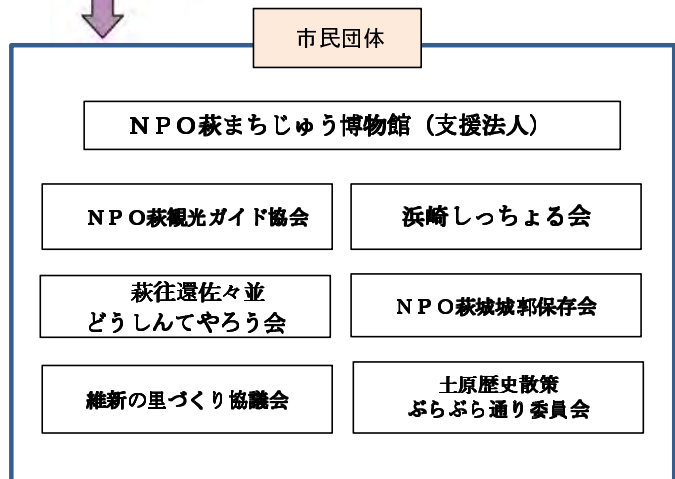
歴史まちづくり推進体制の確立

○平成27年度の推進体制



萩市歴史的風致維持向上計画協議会

- 開催日 平成28年3月10日
- 議題
 - ・進行管理・評価について
 - ・歴史的風致維持向上計画の変更について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部は未指定地域であることから、指定している地区や地域とは極端な景観の差が現れることになる。これを解消するために新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に策定された萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを主に16m以内又は10m以内に制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、平成24年4月には萩市景観計画を改訂し、更なる歴史的風致の維持及び向上に努めている。
 ○平成27年度 萩市景観区域内行為届受理件数 42件(平成28年3月末現在)

進捗状況 ※計画年度との対応

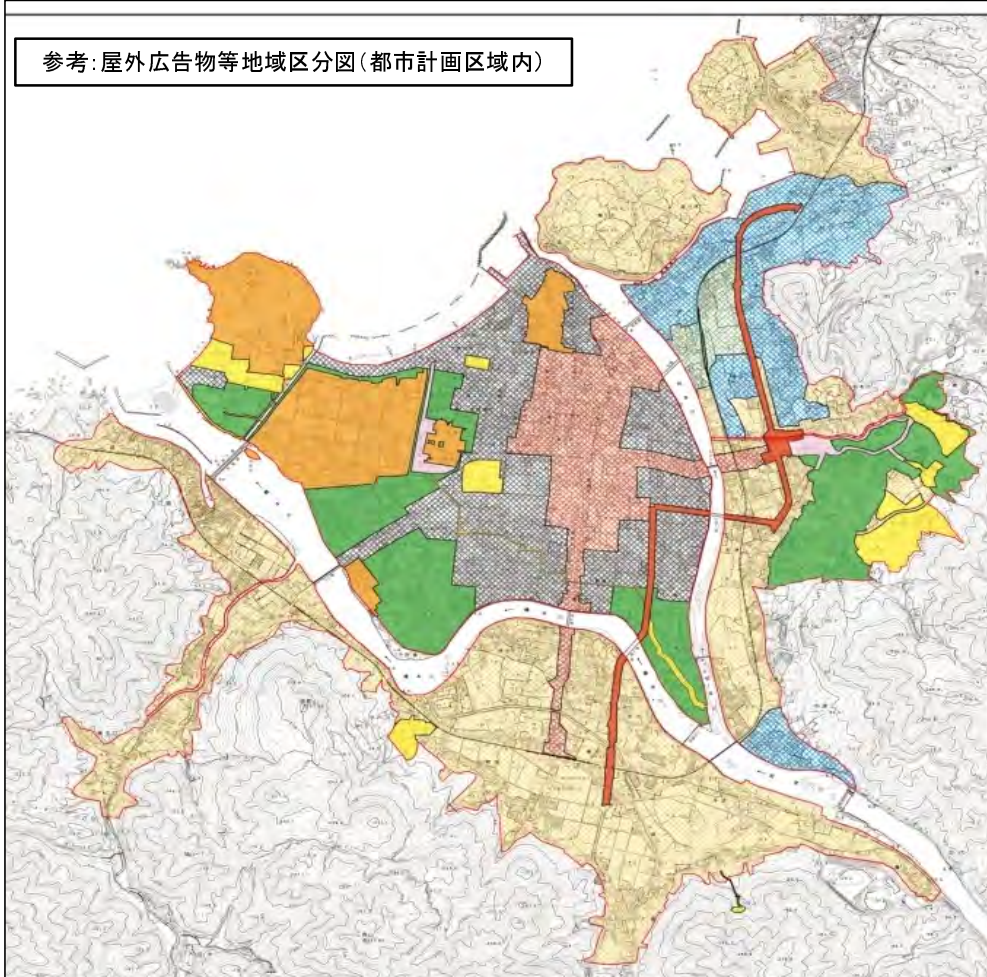
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいた上で基準に適合させた、建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等

参考:屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内)



禁止地域		許可地域			
	第1種禁止地域		第1種許可地域		第6種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域		第7種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域	※第7種許可地域は都市計画区域外地区	
	第4種禁止地域		第4種許可地域		
	第5種禁止地域		第5種許可地域		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
旧萩藩校明倫館活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、集約促進景観・歴史的風致形成事業

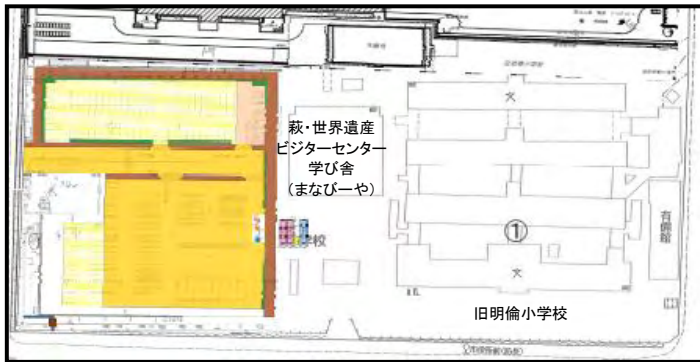
計画に記載している内容 旧萩藩校明倫館は、市街地の中心部に位置し、公共施設や公園、商店街に隣接する利便性の高い場所であることから、今後は「歴史・文化・教育ゾーン」として位置づけ、観光の拠点、教育伝承の場、生涯学習・市民活動の場、資料展示の場として活用することで、歴史的風致の維持及び向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①【旧明倫小学校保存整備】
 ○本館(2,071㎡)・・・萩の歴史・文化・自然を紹介するインフォメーションスペース、昔の小学校を思い出させる教室を再現したスペース、市内の特産品等を販売する物販スペース、萩の食材、主に魚を中心とした飲食を提供するスペース等として活用するための保存整備。
 耐震補強工事、天井・屋根・床張替工事等(継続)
 ○2棟目(1,703㎡)・・・幕末歴史コレクションの展示公開や、世界文化遺産の構成資産のインフォメーション機能等をもった施設として活用するための保存整備。
 耐震補強工事、天井・屋根・床張替工事等(継続)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公開活用に向けた維持管理、運営体制等の詳細を調整する必要がある。また、大規模事業であるため、財源の確保が課題となっている。

<状況を示す写真や資料等>



屋根瓦の取り外しの状況



床の張替えの状況



筋交いによる補強の状況



天井の改修の状況



基礎補強の状況



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度
		現在の状況
萩時代まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成7年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御幣幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることで、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成27年11月15日(日)8時～16時
 入込数 51,000人(萩時代まつり、萩ふるさとまつり全体)

今年度は、雨天であったが、大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。また、平成27年大河ドラマに出演する俳優も、まつりに参加し、多くの見物客で賑わった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「草履舞」奉納の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



古萩大名行列

奉納行列等コース図

2015年 11月15日(日)

8:00～ 萩大名行列 平安古備組/御幣
 9:00～ 萩大名行列 有楽町大行列/御幣
 9:00～ 毛利神元陣屋前祭/御幣
 10:00～ 唐樋「高なる」御幣
 10:00～ 川島聖講御幣奉納
 11:10～ 長門「高なる」御幣
 12:00～ 萩時代/レード/お盆盆囃子
 13:00～ 長門「高なる」御幣奉納
 14:00～ 萩時代/レード/お盆盆囃子

同時開催
 萩ふるさとまつり
 11月14日(土)・15日(日)
 10:00～19:00
 中央公園・萩市民館・田町商店街

金谷天満宮大祭
 11月14日(土)・15日(日)
 10:00～17:00
 推町周辺

萩・推新夢街道まつり
 11月15日(日)
 10:00～17:00
 金谷神社前

萩時代/レード
 11月15日(日)12:00～
 萩観光小町
 萩市東中学校吹奏楽部
 萩市西中学校吹奏楽部
 萩市南中学校吹奏楽部
 全管カントリークラブ
 毛利徳利代議士
 萩市後援会
 萩市ボランティア
 萩市長官舎
 萩市消防団
 萩市警察
 萩市消防署
 萩市消防団



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
秋夏まつり	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和38年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日 平成27年8月1日(土)～3日(月)
 開催場所 萩市内各所
 入込数 120,000人
 ◆秋夏まつり主なスケジュール
 ○8月1日(土)20時～21時 「日本海大花火大会」
 ○8月2日(日)17時～21時 「市民総踊り(ヨイショコショ、トコトンヤレ節)ほか」
 ○8月3日(月)18時～21時 「お船謡、住吉御輿、踊り車ほか」

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区厳島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成27年6月7日(日)12時30分～		
開催場所	萩市橋本川下流		
入込数	16,000人		
「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



【イベントチラシ】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
浜崎伝建おたから博物館	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成27年5月17日(日)9時～15時
 開催場所 萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 9,000人

浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元の「浜崎しっちゃん会」を中心に各種催事が行われている。今年は、小池家土蔵への御船、猿田彦面の展示や西光庵の33体の仏像が初公開となった。また、大河ドラマ花燃ゆの主題歌に合わせた保育園児の太鼓の披露がありオープニング行事も賑わった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況
ワンコイントラスト(百円信託)運動		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

トラストボックス設置箇所 9箇所
 ①道の駅「萩一まーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅
 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧小畑地区世界遺産観光シャトルバス ⑨世界遺産ビジターセンター学び舎
 トラスト金額 累計 29,709,713円 (平成28年3月1日現在)

平成27年8月20日に、小畑地区の世界遺産を無料で巡回するシャトルバス、平成28年1月30日に、新たに開館した世界遺産ビジターセンター学び舎にトラストボックスを追加で設置し、設置箇所は計9箇所となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

第1号 井上勝旧宅門



名 称：井上勝(鉄道の父)旧宅門
 物件の公開：萩市土庫 268-1
 修復年月：平成 18年 4月

第2号 猿田彦面山車



名 称：猿田彦面山車
 物件の公開：住吉神社のお祭り
 で一般公開
 修復年月：平成 18年 10月

第3号 平安古備組道具類



名 称：平安古備組道具類
 ※十字文字織や帯目付織など 10点
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で
 一般公開
 修復年月：平成 19年 7月

第4号 御網代車



名 称：御網代車
 物件の公開：毎年 11月に行われる金谷天満宮祭礼の御神幸
 神事で一般公開
 修復年月：平成 20年 10月

第5号 長州砲



英国より里掃り
 を実現
 名 称：長州砲(萩野流一貫目青銅砲)
 物件の公開：萩博物館で期間限定公開
 重 量：平成 20年 8月から平成 21年 5月末日まで

第6号 伊藤博文公先祖の墓碑



名 称：伊藤博文公先祖の墓碑
 物件の公開：報恩寺境内にて常時公開
 修復年月：平成 21年 9月

第7号 高杉晋作立志像



銅像建立
 名 称：高杉晋作立志像
 物件の公開：史跡萩城下町
 にて常時公開
 建立年月：平成 22年 10月

第8号 奇兵隊隊服



奇兵隊隊服を再現
 名 称：奇兵隊隊服
 物件の公開：萩時代まつりや
 萩博物館で一般公開
 完成披露：平成 25年 6月

第9号 久坂玄瑞進撃像



銅像建立
 名 称：久坂玄瑞進撃像
 物件の公開：萩市中央公園
 にて常時公開
 建立年月：平成 27年 1月

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
	項目	現在の状況
萩ものしり博士検定・子どもものしり博士検定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩ものしり博士検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成27年11月22日(日) 10時30分～

・萩ものしり博士(修士課程)45分間/テキストより100問出題 全問択一式 80問以上正解で合格

・萩ものしり博士(博士課程)90分間/テキストより100問出題 記述式・択一式 80問以上正解で合格

開催場所 萩セミナーハウス

平成21年度にテキストを改訂し、民俗、自然の情報を増やした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更し、平成27年度は計394名が受検した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■萩ものしり博士検定 受検者・合格者数

修士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H17	250人	234人	213人	91.0%
H18	115人	105人	94人	89.5%
H19	88人	74人	71人	95.9%
H20	81人	70人	56人	80.0%
H21	81人	76人	72人	94.7%
H22	70人	66人	61人	92.4%
H23	94人	89人	85人	95.5%
H24	97人	89人	83人	93.3%
H25	46人	44人	42人	95.5%
H26	55人	49人	46人	93.9%
H27	68人	65人	61人	93.8%
合計	1,045人	961人	884人	92.0%

博士課程				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H18	136人	129人	23人	17.8%
H19	89人	81人	32人	39.5%
H20	59人	53人	20人	37.7%
H21	57人	52人	11人	21.2%
H22	39人	36人	11人	30.6%
H23	37人	34人	8人	23.5%
H24	41人	39人	10人	25.6%
H25	38人	33人	10人	30.3%
H26	18人	17人	2人	11.8%
H27	26人	23人	8人	34.8%
合計	540人	497人	135人	27.2%

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
～H23	124人
H24	791人
H25	475人
H26	440人
H27	394人
合格者	2,224人

検定日当日の様子



検定テキスト改定版「萩ものしり博士」



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆大照院<迎え火>
開催日時 平成27年8月13日(木) 19時30分～22時(20時～墓前供養)
- ◆東照寺<送り火>
開催日時 平成27年8月15日(土) 19時30分～22時
入込数 8,300人

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
萩・大茶会		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成27年5月3日(日・祝)・4日(月・祝) 10時～15時		
入込数	14,400人		
市内4箇所	で茶席を開催		
	①小堀遠州流萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】		
	②裏千家淡交会萩支部【旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】		
	③表千家千萩会【久保田家住宅】		
	④遠州流萩支部【熊谷家住宅】		
	平成25度からは、旧久保田家住宅と熊谷家住宅を新たな会場とし、城下町散策の周遊を促進している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【イベントチラシ】

「萩・大茶会」の様子



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年5月1日発行 ・萩ものがたり45号「吉田松陰の妹・文(美和)」(防府史談会 山本栄一郎 著) 平成27年5月20日発行 ・萩ものがたり46号「藩校明倫館」(山口大学名誉教授 小川國治 著) 平成27年11月1日発行 ・萩ものがたり47号「薩長同盟」(広島大学名誉教授 三宅紹宣 著) ・萩ものがたり48号「兼常清佐 萩が生んだ音楽会の奇才」(萩まちじゅう博物館推進委員会土原部会長 三好健二 著)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>萩ものがたり45号「吉田松陰の妹・文(美和)」 (防府史談会 山本栄一郎 著)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>萩ものがたり46号「藩校明倫館」 (山口大学名誉教授 小川國治 著)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>萩ものがたり47号「薩長同盟」 (広島大学名誉教授 三宅紹宣 著)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>萩ものがたり48号「兼常清佐 萩が生んだ音楽会の奇才」 (萩まちじゅう博物館推進委員会土原部会長 三好健二 著)</p> </div> </div>			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	平成27年5月1日(金)～5日(祝・水) 9時～17時30分		
開催場所	萩市民体育館		
入込数	36,600人		
内容	・萩焼窯元等出店事業者 48社 ・ろくろ体験 ・萩焼を使ったテーブルコーディネート展 ・生け花展 ・萩焼抽選会 ・抹茶席 ・特産品の販売		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「萩焼まつり」会場内の様子



「萩焼まつり」会場内の様子



萩焼を使用した生け花展の様子



ろくろ体験の様子



評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
萩・幕末維新検定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・幕末維新検定は、平成30年の明治維新150年に向けた事業展開の一つとして、幕末・明治維新に特化し、萩ゆかりの人物や歴史などをクイズ形式により学びながら、近代日本の礎を築いた人物の関連遺産が数多く残る萩の魅力を再発見するとともに、明治維新胎動の地、萩の歴史的風致を広く情報発信することを目的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 平成28年2月7日(日) 10時00分から
開催場所 萩市民館、JAあぶらんど萩本所(旧萩藩校明倫館横)

内容

・検定時間／初級60分間 中・上級90分間／公式テキストから100問出題／択一式及び記述式 80問以上の正解で合格
 ・受検者特典／松下村塾コース／萩博物館コース／有備館コース
 平成25年11月に公式問題集を発行。平成30年の明治維新150年に向けて毎年開催。第3回目となる平成27年度からは、新たに「初級・入門コース」を設けて3段階制とし、全国から広く受検者を募集した。また、3コースの受検者特典には176名が参加した。県外からの受検者は北海道から鹿児島県まで1都1道2府15県から49名の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

県内外からの受検者確保のため、受検者特典の充実と情報発信の強化を進める

状況を示す写真や資料等

検定会場の様子(初級・入門コース)



受検者特典の様子(有備館コース)



○受検者数

年度	級別	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
25	—	410人	353人	204人	57.7%
26	中級	189人	180人	88人	48.8%
	上級	104人	100人	49人	49%
27	初級	177人	156人	139人	89.1%
	中級	92人	82人	52人	63.4%
	上級	82人	78人	34人	43.5%

○受検者内訳

年度	県内受検者	県外受検者	萩市内受検者	計
25	156人	41人	156人	353人
26	139人	52人	89人	280人
27	144人	49人	123人	316人



検定チラシ

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業

計画に記載している内容 萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の調査・認定・公開を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時:平成27年5月1日(木)から平成28年3月31日(火)
 事業実施箇所:川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域及び大井地区
 事業主体:萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会
 事業内容
 ・おたから(文化遺産)の調査・記録作成事業
 NPO萩まちじゅう博物館と地域の住民が協働で、おたから(文化遺産)を調査・記録する。
 ・おたから(文化遺産)認定事業
 文化財審議会委員、萩博物館学芸員等からなる「文化遺産認定委員会」を組織し、おたから(文化遺産)の認定審査を行う。
 ・おたから(文化遺産)データベースの作成
 認定されたおたから(文化遺産)をデータベース化し、ホームページで公開するとともに報告会(おたから総会)を開催する。
 ・おたから(文化遺産)普及啓発・育成事業
 事業実施地域ごとに交流イベントを開催するとともに「おたからマップ」を作成し、市内外へ情報発信する。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。

状況を示す写真や資料等

○調査による地域おたからマップの作成

【平成25年度】旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地域

【平成26年度】堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域



【平成27年度】川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域

○おたから(文化遺産)の調査・記録・交流イベントの様子



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
語り部育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	文化財施設などで観光客等に、萩市の豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を語る「語り部」により、萩市の歴史的風致を活用するとともに、歴史や文化を広く全国発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・平成30年の明治維新150年へ向けた関連事業として「萩・明治維新を学ぶ 萩の語り部歴史講座」を開催し、観光客等に萩物語を語り広める活動を行った。</p> <p>【萩の語り部歴史講座①】 開催日時 平成27年9月26日(土)～11月29日(日)の間の土日曜日に開催 開催場所 旧萩藩校明倫館内有備館、渡辺蒿蔵旧宅、平安古かいまがり交流館</p> <p>【萩の語り部歴史講座②(出前講座)】 開催日時 平成27年4月7日(火)、4月22日(水)、9月8日(火)、11月27日(金)に開催 開催場所 旧萩藩校明倫館内有備館、萩博物館、萩本陣</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子①



○萩の語り部歴史講座の様子②(出前講座)



○萩の語り部歴史講座①

演題：「松下村塾の双壁 晋作VS玄瑞」「大板山たたら製鉄遺跡」「最後の長州藩主 毛利敬親」「四境戦争」
 「毛利敬親の教育改革－藩校明倫館－」「激動の幕末を駆けた～高杉晋作」「松陰の盟友・楯取素彦」ほか
 実施回数：56回
 聴講者数：514人

○萩の語り部歴史講座②(出前講座)

演題：「維新の先駆者 吉田松陰」「松陰の盟友・楯取素彦」「吉田松陰の教育」
 実施回数：4回
 聴講者数：52人

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するために、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。			
平成27年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、むつみ、旭、福栄、須佐、田万川地域) ・交付金額 33,686千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○魅力ある地域づくり交付金の活用例



- 【福栄地域】
 大板山たたら製鉄遺跡登録記念関連事業
 ・世界遺産登録記念行事「たたらまつり」
 ・地元ボランティアによる管理とガイド
 ・世界遺産登録記念パネル展



- 【川上地域】
 阿武川ダム完成40周年記念事業
 ・ふるさと里帰り懇談会
 ・阿武川ダム完成40周年記念講演会
 ・阿武川ダム完成40周年記念写真展
 ・「長門峡と高島北海」特別展



- 【旭地域】
 彦六・又十郎物語保存活動
 ・紙芝居実演
 ・彦六の道の整備(補修、草刈り)
 ・案内板の増設

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	作成しました。	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境を保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財の巡視のもと維持補修等を適切に実施し、かつ長期的な計画に基づき各年度ごとに保存修理事業や発掘調査を計画通り実施している。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査などを進めている。

【平成27年度主要事業】

- ・重要文化財大照院本堂及び経蔵保存修理工事(継続)
本堂は小屋組の組立などを実施、経蔵は建物周辺の石垣積み直しを実施(期間:平成22年度～平成29年度)
 - ・史跡萩城城下町青木周彌旧宅保存修理工事(継続)
主屋は屋根葺替を完了し、天井などの造作や漆喰塗の仕上げを実施、建物周辺の整地や樹木剪定を行い、全工事完了(期間:平成24年度～平成27年度)
 - ・史跡萩城跡北矢倉跡南方土塀跡石垣調査及び保存修理工事
北矢倉跡の南側に位置する土塀跡の上部遺構を発掘調査し、その後、顕著に変化した部分の石垣解体修理を実施する。(期間:平成27～28年度)
 - ・大板山たたら製鉄遺跡保存整備工事
老朽化した遺構表示物の修理を実施
 - ・伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理・修景 4件
民間が所有する屋敷の門、商家の主屋の保存修理を実施
 - ・佐々並市伝統的建造物群保存地区 旧小林家住宅整備工事(継続)
伝統的建造物である主屋の軸部の改修、土蔵の軸部の改修及び屋根葺替などを実施(期間:平成27年度～平成28年度)
 - ・文化財の周辺環境の保全
萩反射炉(国指定史跡)散策路の整備 見学者の利便性向上のため、萩反射炉(国指定史跡)に新規の遊歩道を整備した。
 - ・埋蔵文化財の調査については、史跡地及び周知の埋蔵文化財の調査を随時実施し、埋蔵文化財の適切な記録及び保存を図っている。
- 萩城城下町遺跡 青木周彌旧宅保存修理に伴う基礎遺構確認調査、恵美須ヶ鼻造船所跡発掘調査、旧萩藩校明倫館発掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



国指定史跡の保存修理
(国指定史跡萩城城下町 青木周彌旧宅)



重要文化財の保存修理
(国指定重要文化財大照院)



伝統的建造物(屋敷の門)の保存修理
(堀内伝建地区)



国指定史跡の環境整備
(国指定史跡大板山たたら製鉄遺跡)



国指定史跡の保存修理
(国指定史跡萩城跡 北矢倉南方土塀跡)



埋蔵文化財の発掘調査
(国指定史跡萩城城下町 青木周彌旧宅)



公有伝統的建造物の整備
(佐々並市伝建地区 旧小林家住宅)



指定文化財周辺の環境整備
(国指定史跡反射炉)



指定文化財の保存修理
(市指定文化財 花江茶亭)



指定文化財の災害復旧
(市指定文化財 益田館)



文化財建造物の維持修理
(国指定史跡萩城城下町 伊藤博文旧宅)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成27年度
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年7月に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録され、萩反射炉をはじめとする萩市の5資産が構成資産となり、この登録に向けて行なってきた啓発活動が成就した。今後は、広く普及・啓発を行なうとともに、定期的なモニタリングに基づき各構成資産の適切な管理と保存を図っていく必要がある。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に務めている。

【平成27年度主要事業】

- ・文化財防火訓練
国指定史跡旧萩藩校明倫館内の有備館にて、文化財防火デーに合わせ、住民や消防団の参加を得て、文化財の防火に関わる講義と文化財防火訓練を実施した。 H28.1.25
- ・文化財の修理見学会
国指定国指定重要文化財 大照院本堂・経蔵保存修理現場の一般見学会を実施した。 H27.11.3
- ・文化財の維持管理
堀内町内会や平安古町内会により国選定重要伝統的建造物群保存地区内の清掃を年間を通じて定期的に行っている。
- ・文化財保存団体の研修
伝統的建造物群保存地区内の保存団体等の代表者3名が全国伝統的建造物群保存地区協議会住民研修会(長野県東御市)に参加した。 H27.5.20~H27.5.23
- ・文化財の利活用に向けた協議
佐々並市伝統的建造物群保存地区内の旧小林家住宅の次年度からの整備とその後の活用・管理について話し合う旧小林家住宅整備活用協議会を2回開催した。 H27.8.21、H28.1.27
- ・文化財の普及啓発
祝世界文化遺産登録 萩の産業遺産群 絵画募集・フォトコンテストを実施した。
- ・文化遺産(おたから)の調査、認定、公開
萩まちじゅう博物館に点在するおたから(文化遺産)を調査し、後世に継承すべきおたからとして認定するとともに、これらをデータベース化して公開する事業に市民とともに取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

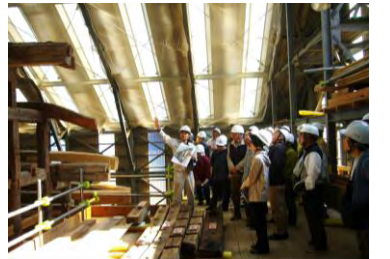
状況を示す写真や資料等



文化財防火訓練
 【旧萩藩校明倫館内 有備館(国指定史跡)】 H28.1.25



ユネスコ世界文化遺産登録
 パブリックビューイング
 H27.7.5 (市役所ロビー)



文化財の修理見学会
 【大照院本堂・経蔵(国指定重要文化財)】 H27.11.3



萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業
 【川島・藍場川、笠山・越ヶ浜、須佐、田万川、大井の5地域】 H27.5.1~H28.3.31
 萩のまちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定・公開を行う事業



保存地区住民による清掃
 【堀内伝統的建造物群保存地区】
 堀内町内会伝建委員会が中心となり、保存地区内の主要箇所草刈りや清掃を定期的に行っている。



旧小林家住宅整備活用協議会
 【佐々並市伝統的建造物群保存地区】 H27.8.21、H28.1.27
 旧小林家住宅の整備内容と完成後の活用・管理について協議した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
①文化財施設等の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市内全域には国指定等文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が187件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めるとともに、各催事等の舞台として積極的な利活用を図った。また、伝統行事や萩焼などの伝統的工芸品についても、活動支援や普及啓発に繋がる事業を行った。

主な事業等

【平成27年度】

萩城跡ライトアップ、萩焼まつり、萩・大茶会、須佐湾遊覧船、萩往還まつり「技・明木展」、萩・夏みかんまつり、萩・オープンガーデン、浜崎伝建おたから博物館、おしくらごう、萩夏まつり、萩・万灯会、着物ウィークin萩、萩竹灯路物語、秋の萩焼まつり、萩時代まつり、萩往還佐々並おいでん祭、萩ものしり博士検定、萩城下町マラソン、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつり、萩・幕末維新検定、萩往還ワンデーウォーク2016

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成27年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ
 【萩駅舎(登録有形文化財)】
 通年:日没~22:00
 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



萩往還まつり「技・明木展」
 【萩往還(史跡)】
 5月3日(祝・日)・4日(祝・月)
 萩往還沿いの明木地区の町並みを活用したイベント(10,000人)



萩・夏みかんまつり
 【萩市平安古地区重要伝統的建造物群保存地区ほか】
 5月16日(土)・17日(日)
 夏みかんの花の香りとともに萩の町並みや夏みかん製品を広くPRするイベント(6,050人)



須佐湾遊覧船
 【須佐湾(名勝及び天然記念物)】
 4月26日(日)~10月31日(土)
 名勝である須佐湾を広くPRするため運航(3,273人)



萩オープンガーデン
 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)、旧湯川家屋敷(市指定史跡)、渡辺蒿蔵旧宅ほか全26施設】
 5月9日(土)~5月17日(日)
 文化財施設や民間住宅のお庭巡りを楽しんでいただくイベント(8,500人)



着物ウィークin萩
 【萩城下町(史跡)ほか】
 10月1日(木)~12日(月・祝)
 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント(11,000人)



萩竹灯路物語
【萩城城下町(史跡)ほか】
10月9日(金)～11日(日)
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (6,090人)



秋の萩焼まつり
10月9日(金)～12日(祝・月)
伝統的工芸品である萩焼を広く普及させるためのイベント (20,800人)



萩往還佐々並おいでん祭
【萩市佐々並市重要伝統的建造物群保存地区】
11月22日(日)
佐々並市の町なみ散策とともに特産品をPRするイベント(3,000人)



萩城下町マラソン
【萩城跡(史跡)、萩城城下町(史跡)ほか】
12月6日(日)
萩まちじゅう博物館を舞台に、全国から4,243人の申込みがあり、3,526人が完走した。



萩城下の古き雛たち
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか10施設】
2月3日(水)～4月3日(日)
萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント (29,289人)



萩・椿まつり
【笠山虎ヶ崎ヤブツバキ群生林(天然記念物)】
2月13日(土)～3月27日(日)
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント
(54,033人)



萩往還ワンダーウォーク2016
【萩往還(史跡)】
3月26日(土)
萩往還を歩き、維新の志士が往来した歴史ある街道を楽しむスポーツイベント
(1,300人)

※()は集客数

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 平成27年度 掲載紙等
【萩の産業革命遺産関連記事】		
明治の産業革命世界遺産へ	H27.5.5	朝日新聞
維新の原点萩5資産 世界遺産登録勧告	H27.5.5	読売新聞
「明治産業革命」世界遺産へ	H27.5.5	毎日新聞
「産業革命遺産」世界遺産へ	H27.5.5	山口新聞
世界遺産登録勧告から一夜、祝賀ムード	H27.5.6	山口新聞
「五つの宝」登録沸く	H27.7.7	朝日新聞
萩5資産登録に沸く	H27.7.7	読売新聞
地元の思い結実	H27.7.7	毎日新聞
紆余曲折の未決まりほっと	H27.7.9	山口新聞
「維新150年へ弾み」遺産登録、萩でシンポ	H27.7.19	朝日新聞
世界遺産「保存し、活用を」	H27.7.19	読売新聞
萩の世界文化遺産5施設市がガイドブック製作	H27.7.22	毎日新聞
世界遺産見学のバス運行始める	H27.7.22	毎日新聞
産業革命の軌跡紹介 萩で資料など45点	H27.9.19	読売新聞
「造船所」の姿発掘	H27.9.21	山口新聞
萩・世界遺産ビシターセンター学び舎	H28.1.31	毎日新聞
世界遺産PR「学び舎」開館	H28.1.31	読売新聞
世界遺産、バーチャル「出現」	H28.2.2	朝日新聞
【明治維新150年記念事業関連記事】		
手紙に宿る志士の心意気	H27.4.17	朝日新聞
「花燃ゆ」展きょうから	H27.4.18	山口新聞
萩と長門の年賀はがき販売	H27.11.18	朝日新聞
薩長同盟・兼常清佐を冊子に	H27.11.25	朝日新聞
萩の大河ドラマ館30万人	H27.12.15	山口新聞
同盟150年で「薩長鍋」	H28.1.21	山口新聞
薩長同盟150年祝い新盟約	H28.1.22	読売新聞
150年・・・薩長新盟約	H28.1.22	朝日新聞
「花燃ゆ」「世界遺産」効果138億円	H28.2.4	読売新聞
萩市の観光客数39年ぶり200万人突破	H28.2.8	毎日新聞
萩地域観光客数200万人台	H28.2.8	山口新聞
薩長同盟150年幕末志士ら駆けるー厚狭-東萩駅間に臨時快速	H28.3.10	中国新聞
薩長同盟150年観光促進 厚狭-東萩駅、幕末ISHIN号登場	H28.3.20	山口新聞
【その他計画に関連する記事】		
萩焼2万点が一堂に	H27.5.2	読売新聞
城下町で優雅なひととき	H27.5.4	山口新聞
萩焼や地酒 買い物楽しむ	H27.5.4	読売新聞
世界遺産を着物で散策	H27.10.2	朝日新聞
大名行列に歓声「花燃ゆ」	H27.11.16	朝日新聞
修士61人、博士8人合格 萩ものしり博士検定	H27.11.26	山口新聞
萩に燃ゆ 3528人完走	H27.12.7	朝日新聞
「花燃ゆ」×萩市 ロケ地表彰で特別賞	H28.1.28	朝日新聞
ひな人形1200体 15施設展示	H28.2.4	読売新聞
萩・幕末維新検定225人合格	H28.2.19	読売新聞
400年前のひな人形 萩博物館に2体展示	H28.3.4	山口新聞
着物で萩「幕末女子会」	H28.3.9	朝日新聞
伊藤博文新たな写真	H28.3.27	読売新聞
<p>歴史的風致維持向上計画の着実な推進などにより、全国に先駆けて歴史的な景観や貴重な遺産を大切に保存してきた大きな成果として、平成27年7月に市内5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録されたことに伴い、歓喜に沸く萩市民の様子や世界遺産を紹介するための各施策が各社により報道された。その他、平成30年の明治維新150年に向けた記念事業を推進するため「萩・明治維新150年記念事業実行委員会」が実施した事業や、平成27年度大河ドラマ「花燃ゆ」の放映に伴う関連情報が報道された。このほか計画に記載している各種イベントや市内でロケのあったテレビ番組が全国に配信され、萩の歴史文化や町並み、また、これらを活用した各種取組の周知が図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。	

■■■取材及び掲載記事等一覧表■■■（平成27年度）

No.	取材（予定）日	報道機関等名	番組名	放送範囲	内 容
1	4月1日	NHK総合	ニュース シブ五時	全国	指月公園桜生中継
2	4月1日	NHK総合	ニュース シブ五時	全国	指月公園桜生中継
3	4月6日	NHK（BSプレミアム）	新日本風土記	全国	萩・津和野特集 萩焼窯元、文化財施設ほか
4	4月13日	テレビ朝日系列	おいしい王国「ごはんジャパン」	全国	城下町、アマダイ漁、千代、しーまーと
5	4月14日	NHK総合	とっておきサンデー	全国	湯川家屋敷
6	4月16日	テレビ西日本TNC	土曜NEWSファイル CUBE	福岡	明倫、木戸、伊藤、松陰誕生地
7	5月9日	NHK（BSプレミアム）	「さいはっけん！古都物語 とっておきの一枚・大賞決定	全国	有備館、旧明倫小学校
8	5月15日	テレビ朝日	グッド！モーニング	全国	かんきつ公園
9	5月15日	日本テレビ	Z I P !	全国	萩反射炉など世界遺産5箇所
10	5月20日	日本テレビ	秘密のケンミンSHOW	全国	夏みかん製品、夏みかん
11	5月25日	ライオン株式会社	WEBコンテンツ「Idea」	全国	湯川家屋敷
12	5月28日	BSジャパン	美しき日本百景	全国	萩市内の自然
13	5月28日	BS-TBS	THE 歴史列伝～そして傑作が生まれた～	全国	松下村塾
14	5月28日	テレビ朝日	いきなり黄金伝説	全国	椿の館
15	6月15日	テレビ静岡	てっぺん静岡	静岡	萩反射炉
16	6月18日	テレビ朝日	食彩の王国	関東	萩たまげなす
17	6月21日	ABC朝日放送	おはようコール	関西	世界遺産
18	6月22日	NHK（BSプレミアム）	英雄たちの選択	全国	長州藩と会津藩
19	6月23日	BS-TBS	素晴らしき日本鉄道の旅	全国	山陰本線
20	6月24日	NHK総合	歴史秘話 ヒストリア	全国	松下村塾の女たち
21	6月28日	NHK総合	都美姫・松坂慶子の花燃ゆ紀行	全国	花燃ゆ関係
22	6月28日	BS-TBS	THE 歴史列伝～そして傑作が生まれた～	全国	乃木希典
23	7月1日	NHK福岡	「はっけんTV（テレビ）」	九州	世界遺産
24	7月9日	NHK総合	山口ニュース	山口県	大河ドラマ館
25	7月13日	テレビ広島	テレビ派	広島県	世界遺産
26	8月24日	NHK総合	花燃ゆ紀行	全国	前原一誠旧宅
27	9月20日	BS-TBS	豪華列車で行く、日本文化紀行	全国	萩城下町他
28	9月27日	BSジャパン	にっぽん真発見	全国	萩城下町他
29	10月7日	えびすFM	佐賀FUN倶楽部よかかんた～	佐賀市	世界遺産
30	11月30日	ABC朝日放送	おはよう朝日土曜日です	近畿	見蘭牛、キモノスタイルなど
31	12月15日	NHK総合	キッチンが走る！	全国	金太郎、ブロッコリー、フグなど
32	12月16日	TYS	ちくまや家族	山口県	幕末維新検定
33	1月15日	テレビ朝日	モーニングショー	全国	ワンダふるさとコーナー 松陰先生の言葉
34	2月15日	日本テレビ	こころに刻む風景	全国	木戸孝允旧宅
35	2月15日	KTS鹿児島テレビ	KAGOSHIMA 見っどナイト	鹿児島	松陰神社、城下町
36	2月17日	BSイレブン	文化のカ～おいでませ山口へ文化を巡るドライブ旅	全国	世界遺産など県内各所
37	2月23日	緯来日本台（台湾）	山口県PR特別番組	台湾	松下村塾、萩反射炉、萩城下町
38	2月29日	BSフジ	漣ほっ！	全国	萩まち歩き（田町、笠山他）
39	3月10日	NHK	ファミリーヒストリー	全国	中谷正亮

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成27年度

項目

萩・明治維新150年記念事業

計画に記載している内容 萩が日本の歴史にかかわった最大の出来事は、明治維新であり、吉田松陰やその門下生である高杉晋作、木戸孝允をはじめとする幕末維新の志士、伊藤博文、山縣有朋ら近代国家確立に尽力したいわゆる長州閥と呼ばれる政治家、藤田伝三郎、渡辺蔭蔵ら実業家など、その前後の時代に多くの逸材を輩出したことである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年(2018)に「明治維新150年」の節目の年を迎えるにあたり、近代日本の扉を開いた先達の歴史をひもとき、「明治維新胎動の地」として、先達の織りなす「幕末・維新の萩物語」を語り広め、次の世代に語り継ぐため、記念事業を開催。
事業期間:平成26年度～平成30年度

事業主体:萩・明治維新150年記念事業実行委員会(行政、経済団体、NPOなど12団体で組織 事務局:企画政策課)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

平成30年の明治維新150年まで、萩市民の機運を高めるための記念事業を毎年開催予定。

状況を示す写真や資料等

テーマ

- ◆ 江戸時代の地図が今なお使える「萩まちじゅう博物館」を楽しもう！
- ◆ 先達の織りなす「幕末・維新の萩物語」を語り継ごう！
- ◆ 19世紀末の世界史の奇跡と言われる日本近代化の原点となった「萩」を学ぼう！

ロゴマーク



主要事業

- 4月～
ガイドと巡る歴史ウォーク古地図で巡る「萩城城下町」
「維新胎動の地・旧松本村を歩く～大河ドラマ花燃ゆゆかりの地を歩く～」
- 4月～ 萩博物館特別展、企画展、特設展示
特別展「長州男児、愛の手紙」
企画展「明治日本の産業革命遺産」と萩
特設展示「兄松陰と妹文～杉家の家族愛～」
- 7月～
・萩反射炉駐車場増設
・花燃ゆ大河ドラマ館リニューアル
・市民講座大河ドラマ「花燃ゆ」
・世界遺産関連パンフレット(日本語、英語版)発行
・世界遺産巡回シャトルバス運行開始(小畑地区、大板山たたら製鉄遺跡)
・世界遺産登録記念シンポジウム
基調講演(加藤康子氏、三宅紹宣氏)
パネルディスカッションー松下村塾と明治日本の産業革命遺産ー
- 9月～
・薩長同盟150年記念キャンペーン(鹿児島観光宣伝)
・萩・明治維新を学ぶ「萩の語り部歴史講座」(全60回)
- 11月
・オリジナルフレーム切手販売「明治維新150年記念シリーズ3 1865年(慶応元年)萩」
- 1月
・薩長同盟150年記念イベント
鹿児島市との友好交流に関する盟約締結調印式
記念講演(幕末最大の同盟 薩長同盟から150年 三宅紹宣氏)
記念植樹(鹿児島市の花きょうちくとう)
・萩・世界遺産ビジターセンター学び舎開館
薩長鍋、薩長ご当地キャラ撮影会
- 2月
・第3回萩・幕末維新検定(初級、中級上級)
- 3月
・幕末女子会in萩



評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成27年度

項目

萩・世界遺産ビクターセンター学び舎

計画に記載している内容 萩まちじゅう博物館の中核施設である萩博物館や地域博物館を管理運営するとともに文化財の再発見、その登録や管理、情報発信、活用を行い、文化財を活用した催し物、講演会、シンポジウム等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成27年7月世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」。8県11市の23資産の中でも近代化の原点といわれる萩の5資産の位置づけや、吉田松陰がわが国の工学教育に果たした役割、23資産全体を映像やパネル、アニメーション等を使ってわかりやすく楽しく学べる施設を花燃ゆ大河ドラマ館閉館後の旧明倫小学校体育館に開設した。

【期間】平成28年1月30日(土)～平成29年2月12日(日)

【時間】午前9時～午後5時(無休)

【料金】大人 300円、大人団体 240円、生徒・児童(小・中・高生) 100円、生徒・児童団体 80円

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

「19世紀末の世界史の奇跡といわれる日本近代化の原点 萩」

- ①19世紀中期の世界と日本
- ②工業化試行錯誤の舞台／萩城下町
- ③製鉄近代化への挑戦／萩反射炉
- ④造船近代化への挑戦
／恵美須ヶ鼻造船所跡・大板山たたら製鉄遺跡
- ⑤工学教育の先駆者吉田松陰／松下村塾
- ⑥明治の工業化と「長州ファイブ」たち



見どころMAP

吉田松陰先生が工学教育の重要性を説いた講義をアニメ映像で楽しめます。



(アニメーションイメージ)

吉田松陰に学んだ伊藤博文をはじめとする長州ファイブ、そのほか門人たちの工業化への貢献を紹介します。



150インチの大型スクリーンで「明治維新の原点・萩 日本近代化の軌跡一」を上映。

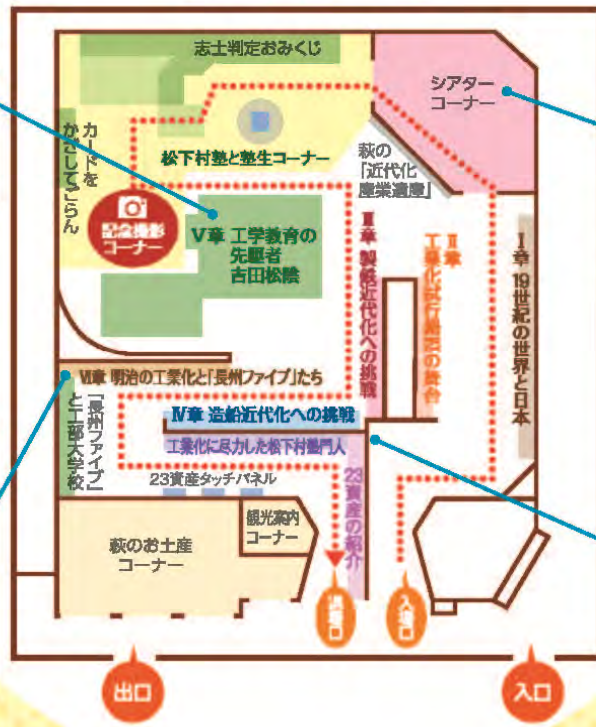


(シアターイメージ)

西洋で発生した産業革命の波が地球を半周して日本でどのように導入されていったのか、その一連の動きを紹介します。



(入口イメージ)



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 27年度

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

萩市では、市内に豊富に遺存する文化遺産を将来にわたって確実に継承していくため、文化財保護に努めるとともに、歴史的景観の保存に取り組んでいる。
 計画に記載している内容 本計画は、萩の豊かな歴史的風致の維持及び向上を図り、萩市におけるまちづくりの基本理念「市民自らが考え、主体的に取り組む市民本位のまちづくり」、「誇るべき歴史・文化・豊かな自然に調和し、新たな価値を創造する活力と魅力あるまちづくり」を実現するための計画のひとつとして位置づけ、策定にあたっては、関連する「萩市景観計画」及び「萩市都市計画マスタープラン」との整合性を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。

具体的には、①重点区域における良好な景観形成のための事業と②歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する各事業を進めたことにより、各イベント参加者数の増加とともに萩市全体の観光客数が増加し、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。

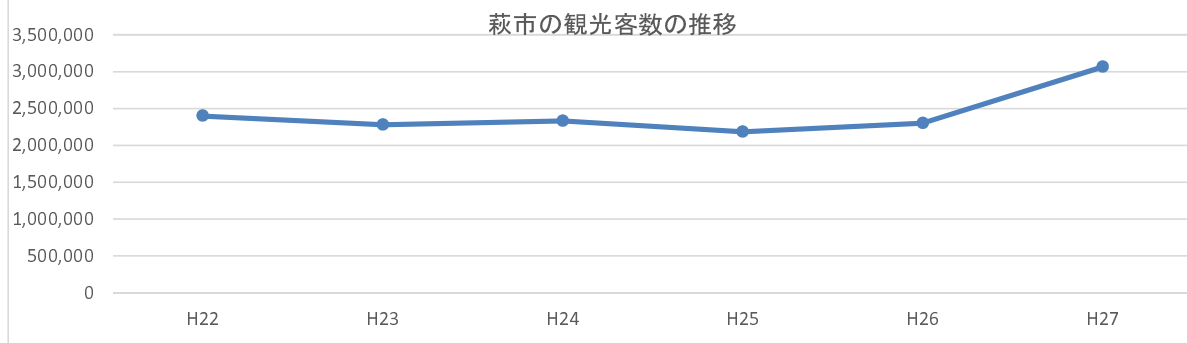
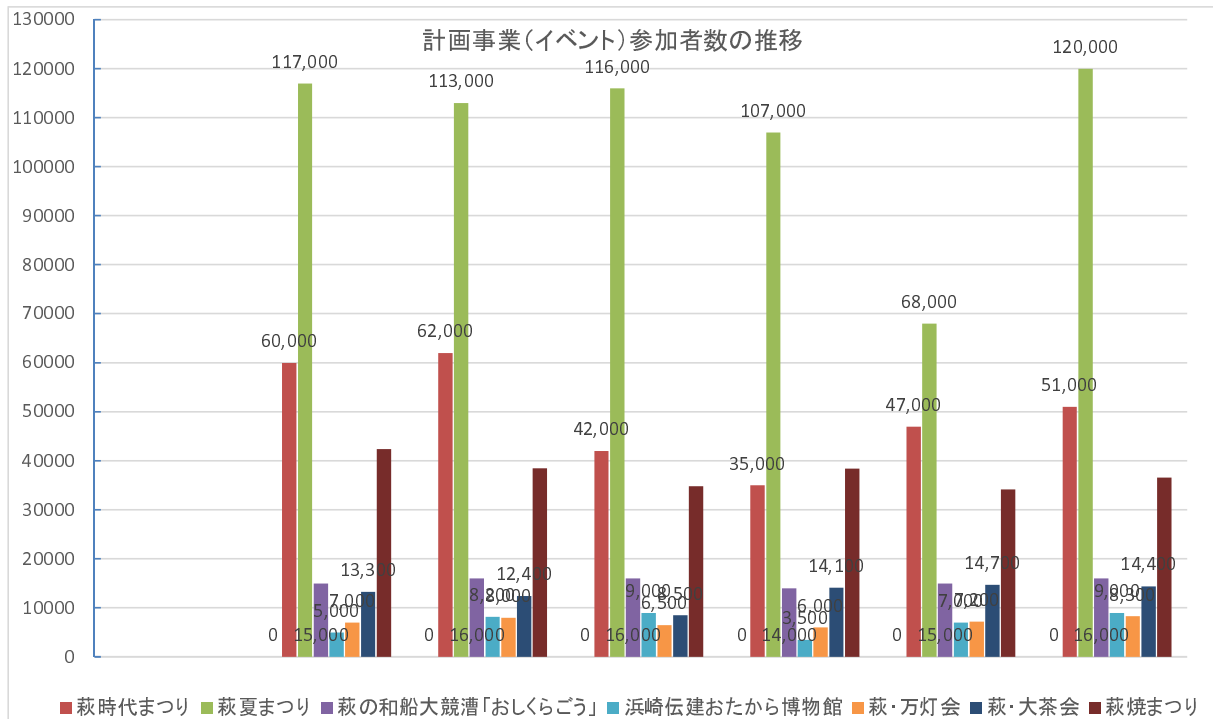
また、本年7月に世界遺産へ登録された「明治日本の産業革命遺産」に、萩市の5資産が含まれるなど、これまでの取り組みの成果が現れている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成28年3月10日	
(コメントの概要)	
協議会議事	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について ⇒各担当者より評価シートについての説明 (2) 萩市歴史的風致維持向上計画の変更について ⇒担当者から計画の軽微な変更内容について説明 (3) その他 	
コメント等	
堀内伝建地区において、伝建地区にふさわしくない、門が建てられている。当地区は現状変更について市の許可が必要だと思うが、市の許可を得ずに設置されたものであるならば、市から指導、改善措置等きちんと対応していただきたい。	
(今後の対応)	
個別案件については、適切に対処するとともに、関係業者や保存地区住民も代替わりなどが進んでいることから、制度の概要について周知を図っていきたい。なお、堀内地区の保存地区住民向けには、本年より町内会と協力して、年に二回のペースで伝建地区の概要やニュースを伝えるチラシの各戸配布を行なっている。	